



情文センターFAX・メール通信



2月です。寒さの中、屋外の仕事をがんばっているAさん、ご病気と闘っているBさん、頼りにしていたご両親が入院してしまって不安の中にいるCさん、心配な方々がたくさんいますが簡単にお会いすることができなくなって、ただただご無事を祈るばかりです。新型コロナウイルスが世界中に蔓延して、一年が過ぎようとしています。2020年度も残り少なくなりました。新型コロナウイルスは人が動くと感染が広がる性質故、私たちは近づかず触れ合わず、おしゃべりを控え、人の触った物を消毒して回るようになりました。多くの方が罹患し、治癒した方も多いですが、多くの方が亡くなりました。

この一年、コロナのことがきっかけで、さまざまな問題が噴出しました。あの東日本大震災でも普段の問題が災害をきっかけに浮き彫りになったことを思い出します。

今一度、私たちがこの新しいウイルスを媒介していると自覚し、お互いに助け合わなくてはならないということ認識していきたいと思えます。ある若い女性が感染予防には神経質すぎるくらいに取り組んでいたのに罹患して、入院先の医師に尋ねたところ「外食していればかかりますよ」と言われたという記事がありました。時折、プロの作るおいしい味の誘いに負けそうになるわたくしではありますが、おひとり様だから大丈夫!ではない!と、気を引き締めました。

いつも精神保健福祉援助においてお世話になっている双葉会診療所の片倉先生が、諏訪中央病院の玉井道裕先生の「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書 誰かの物語編 1/25up」を紹介しています。諏訪中央病院HPより <http://www.suwachuo.jp/info/2020/04/post-117.php>

是非ともご覧になってください。先生自筆のとてかわいくて面白くためになるイラスト付きの説明書です。先生は最後に「私達が救おうとしているのは、「命」だけではなく、「生活」や「人生」です。どうか皆様、私達に力を貸して下さい」(原文まま)と書いています。

今一度、私たちは、お互いの生活と人生のためにコロナウイルスを広げないように力を合わせましょう!

皆様がどうかご無事でありますように。春の花が元気に咲きますように。施設長 森せい子

聴覚障害者情報提供施設のお知らせ

ライブラリーから

初企画! 映画に手話つけちゃいました!

後期入荷の作品(3月下旬貸出予定)では、初めて映画に手話がつきます。タイトルは『俺は、君のためにこそ死にに行く』太平洋戦争では、鹿児島県知覧飛行場から、493名の若者が特攻として飛び立っていきました。戦場に散った命、生き残った命、生きる意味を問いかけます。手話は江副悟史さん。江副さんにとって、何度も繰り返し観た大好きな映画。「祖父が特攻隊員だったので、祖父から聞かされていた話を思い出しながら精一杯やらせていただきました。自分にとって挑戦でしたが、すぐに引受けました」と言う江副さんの手話弁士の様子、是非、ご覧ください。

新着図書 (2月初旬に入荷予定)

『誰にでも訪れる耳の不調・難聴を乗り越える本』
豊田浄水こころのクリニックで心療耳科外来を担当する杉浦彩子氏が聞こえない苦しみ、孤独感に寄り添い、乗り越える方法を語ります。図書は来所でのご利用となります。

2月の文化教養講座は中止です

毎月楽しみに参加いただいていた手話サロンと字幕付き映画上映会は中止となりました。その他の定期講習会関係も、新型コロナ感染防止のため皆様の健康を第一に考え、お休みさせていただきます。個別の相談とビデオ・図書の貸出は継続しています。外出は控え目に、手洗いをしっかり行い、大勢で集まらないなど、みんなで感染防止に努めましょう。



詐欺に注意! あなたは大丈夫?



コロナ感染が広がる社会状況に合わせた詐欺が増えてきます。ニセ宅配業者から不在通知のメールが届いたり、ワクチンの予約金を振り込ませる電話がきたり、高額な薬の訪問販売など。おかしいと思ったら、メールに返信しない、URLをクリックしない、電話を切って警察に届けるなど、注意しましょう。

(社福)聴覚障害者情報文化センター聴覚障害者情報提供施設 〒153-0053 東京都目黒区五本木1-8-3

TEL:03-6833-5004 FAX:03-6833-5005

Eメール soudan@jyoubun-center.or.jp ウェブサイト <http://www.jyoubun-center.or.jp/>

【開館】火・水・木・土曜日10時~17時 金曜日10時~19時【閉館】日・月曜日・祝日・年末年始

★FAX・メール通信の配信停止、配信方法の変更などありましたらお知らせください★